

代理店実在数の推移
(国内会社、外国会社合計)

年度	代理店数	増減数	増減率
1992 (H4)	470,513	904	0.2%
1993 (H5)	468,033	-2,480	-0.5%
1994 (H6)	470,541	2,508	0.5%
1995 (H7)	476,217	5,676	1.2%
1996 (H8)	623,741	147,524	31.0%
1997 (H9)	592,126	-31,615	-5.1%
1998 (H10)	593,872	1,746	0.3%
1999 (H11)	570,919	-22,953	-3.9%
2000 (H12)	509,619	-61,300	-10.7%
2001 (H13)	342,191	-167,428	-32.9%
2002 (H14)	323,139	-19,052	-5.6%
2003 (H15)	305,836	-17,303	-5.4%
2004 (H16)	286,576	-19,260	-6.3%
2005 (H17)	266,753	-19,823	-6.9%
2006 (H18)	253,810	-12,943	-4.9%
2007 (H19)	235,846	-17,964	-7.1%
2008 (H20)	217,864	-17,982	-7.6%
2009 (H21)	207,903	-9,961	-4.6%
2010 (H22)	202,098	-5,805	-2.8%
2011 (H23)	197,005	-5,093	-2.5%
2012 (H24)	194,701	-2,304	-1.2%
2013 (H25)	192,007	-2,694	-1.4%
2014 (H26)	204,990	12,983	6.8%
2015 (H27)	202,148	-2,842	-1.4%
2016 (H28)	196,043	-6,105	-3.0%

※ 代理店実在数は1996年度末の623,741店が最大(1995年度:476,217店、1996年度:623,741店、対前年度比+147,524店)。これは1996年4月から新保険業法が施行されたことによって生損保の相互参入が認められるようになり、生保営業職員による損保代理店の登録数が増えたものと推測される。

※ 代理店実在数は2001年度に大幅に減少した(2000年度:509,619店、2001年度:342,191店、対前年度比-167,428店)。これは保険業法の改正により、生保会社本体が損保代理店になることが可能となり、それまで個々に登録していた生保営業職員の個人代理店が大量に廃止されたためと推測される。